

題材「背景を考えて読む漢字の成り立ち」（第1時）

1 本時の学習計画 2時間中の第1時

(1) 学習のねらい

漢字の読み方と使い方について考えてきた子どもたちが、「象形文字で書かれた紹介文」に出会い、象形文字を普段使用している文字に訳し読む活動を通して、漢字と絵のつながりに気づき、普段当たり前に使っている漢字の成り立ちに興味を持つことができる。

(2) 本時の学習材

象形文字で書かれた紹介文

- 授業の導入において普段使用している言葉で書かれた簡単なクイズを提示する。子どもたちはそのクイズの難易度の低さに物足りなさを感じると予想される。そのクイズの答え合わせをした直後に学習材を提示することで子どもたちは見慣れぬ文字に戸惑いつつも知的好奇心を刺激される。
- 学習材は紹介文から誰の紹介であるかを当てるクイズの紹介文を、象形文字を交えて表記したものである。象形文字は一目見て訳すことが容易な比較的わかりやすいものと、原形をとどめておらず前後の文脈から推理する必要があるものを混在させる。前者で象形文字の特徴を把握し、後者で子どもたちの挑戦性を高めると同時に漢字の成り立ちの意外性から楽しさを感じることができるようにする。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 普段使用している文字で紹介文が書かれたクイズの答えを考える。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     学習問題                      紹介文を読んで誰の説明をしているのか当てよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○簡単すぎてつまらない</li> <li>・何あれ？</li> <li>○あれ漢字なの？</li> </ul>	15'	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズの形式に慣れると同時に普段使用している文字は簡単に読むことができることを感じる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">                     学習材                      象形文字で書かれた紹介文                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○象形文字が絵からできた漢字であることを伝え翻訳の手掛かりにできるようにする。</li> </ul>
展開	2 象形文字で紹介文が書かれたクイズの答えを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あれって漢字なのかな</li> <li>・ただの絵じゃん</li> <li>・どうやったら読めるかな</li> <li>○絵を普段使っている漢字に直したら読めるんじゃないかな</li> <li>○あの漢字の由来ってそれなんだ！</li> </ul>	25'	<ul style="list-style-type: none"> <li>○象形文字と現在の漢字の対応を、電子黒板を用いて順番に示し読めるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">                     評価                      普段当たり前に使っている漢字の成り立ちに興味を持つことができたか。発言、つぶやき、感想用紙から捉える。                 </div>
終末	3 活動を通して感じたことを用紙に記入する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字って元々絵だったんだね</li> <li>○他の漢字はどんな風に来上がったのかな</li> </ul>	5'	